



動物実験に関する検証結果報告書



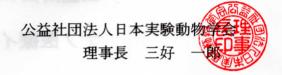
公益財団法人川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター

動物実験に関する外部検証事業 (公益社団法人日本実験動物学会) 2022 年 3 月

2022年3月7日

公益財団法人川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター 理事長 三浦 淳 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。



対象機関:公益財団法人川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター

申請年月日: 2021年6月23日

訪問調查年月日: 2021年12月24日

調查員:下田耕治、今井俊夫、上田 潤

検証の総評

川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンターは、文部科学省の国際科学イノベーション拠点として川崎市殿町地区に整備され、2015 年 4 月より運用が開始された。地上 4 階建、延べ床面積 9,444 ㎡の建物の一角に約 600 ㎡の動物実験区域を設け動物実験が実施されている。「川崎市産業振興財団動物実験等に関する要綱(以下「要綱」という。)」及び「ナノ医療イノベーションセンター動物実験に関する基本指針(以下「指針」という。)」に基づき、動物実験計画の審査、承認、結果報告、教育訓練、自己点検・評価、情報公開等、文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針(以下「基本指針」という。)」に則した動物実験が適正に実施されている。また、環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準(以下「飼養保管基準」という。)」に則した飼養保管体制が整備され、飼養保管状況も良好である。外国人研究者のために英語による教育訓練を実施し、英語版の利用案内等を整備している点は高く評価できる。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1	機関内規程

7,0122,70
1.機関内規程
1)機関による自己点検・評価結果
■ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。
□ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。
□ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「要綱」及び「指針」が定められ、その内容は基本指針及び飼養保管基準に則している。「要
綱」及び「指針」の階層関係や研究機関の長(理事長)の責務について、一部に不明瞭な表現が
みられたが、その後、適正に改訂されている。よって、機関内規程について、自己点検・評価の
結果は妥当である。
The forces of the contract of
3)検証の結果
■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
□ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
□ 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。
ar titl coll in the coll in
2. 動物実験委員会
1)機関による自己点権・評価結果

- - 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。
 - □ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。
 - □ 動物実験委員会を設置していない。
- 2) 自己点検・評価の妥当性

「要綱」及び「指針」に基づき、基本指針で規定される3種のカテゴリーの委員を含む5名の 委員で構成する動物実験委員会が設置されている。よって、動物実験委員会について、自己点検・ 評価の結果は妥当である。

3)検証の結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- □ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- □ 動物実験委員会は置かれていない。

4) 改善に向けた意見	
特になし。	
3. 動物実験の実施体制	
1)機関による自己点検・評価結果	
■ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。	
□ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。	
□ 動物実験の実施体制を定めていない。	
2) 自己点検・評価の妥当性	
「要綱」「指針」及び「動物実験委員会審査内規」に基づき、動物実験計画の立案、審査、承認	認、
結果報告等について定められ、「動物実験(変更)計画書」「動物実験実施状況報告書」「動物実	験
終了報告書」「動物実験施設設置申請書」「動物実験施設利用状況報告書」「動物実験施設廃止報	告
書」など各種様式も整備されている。よって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価	jの
結果は妥当である。	
	. 1
3)検証の結果	
■ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。	
□ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。	
□ 動物実験の実施体制が定められていない。	
4) 改善に向けた意見	10
特になし。	
4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制	
1)機関による自己点検・評価結果	
■ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。	
□ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点があ	っる
□ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。	
□ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。	
2) 自己点検・評価の妥当性	
「遺伝子組換え実験管理要綱」「バイオセーフティ管理要綱」「毒物劇物取扱要綱」「麻薬及び	沁向
精神薬取扱要綱」等が定められ、実施体制が整備されている。また、動物実験委員会と各安全	
員会の間で情報共有がなされている。よって、安全管理を要する動物実験の実施体制について	

自己点検・評価の結果は妥当である。

3)検証の結果
■ 該当する動物実験の実施体制が定められている。
□ 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
□ 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
□ 該当する動物実験は、行われていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。
175 TO THE STREET THE PROPERTY HE SEE SEE SEE SEE SEE SEE SEE SEE SEE
全年四十七年至日本在日本中,日本日本日本日本日本日本教育教育教育教育教育教育教育
5. 実験動物の飼養保管の体制
1)機関による自己点検・評価結果
■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
□ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
「要綱」に基づき、飼養保管施設は動物実験委員会による調査の後、理事長により承認されて
いる。飼養保管施設設置に必要な書式等も整備されている。飼養保管施設には実験動物管理者が
配置されるとともに、管理業務要領、施設利用案内や緊急時の対応マニュアル等が整備されてい
る。また、これらマニュアル類の日本語版及び英語版が作成されている点は高く評価できる。よ
って、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
3)検証の結果
■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
□ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。
自己是公司司(1) (A) (1) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A

6. その他(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

ナノ医療イノベーションセンターは 2016 年度に「動物実験に関する外部検証事業」に基づく 外部検証を受けており、今回、「第 2 期外部検証プログラム」に基づく 2 度目の受検である。前 回の受検時に指摘された事項が改善されている点は、高く評価できる。

Ⅱ. 実施状況

1. 别彻天恢安只五	1		動物実験委員会
------------	---	--	---------

1)機関による自己点検・評価結果
■ 基本指針に適合し、適正に機能している。
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
□ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
動物実験委員会は年1回オンラインで開催されるとともに、動物実験計画は随時メールで審査
されている。2020 年度は新規計画 20 件及び継続計画 42 件、計 62 件の計画書を審査し、議事録
から適正な審査であることを確認した。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結
果は妥当である
3)検証の結果
■ 基本指針に適合し、適正に機能している。
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
□ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。
2.1. 企业的企业的企业的企业的企业的企业的企业的企业的企业的企业的企业的企业的企业的企
4. またアコルス・メンドの表現の事業が利用が開発を担保が開発しており、これを対し、これを対し、これを対象を確定を確定する。これを対し、これを対象を確定することを対し、これを対し、これを対象を確定する。これを対し、これを対し、これを対象を確定する。これを対し、これをは、これを対し、これを対し、これを対し、これを対し、これをは、これを対し、これを対し
2. 動物実験の実施状況
2. 動物実験の実施状況1)機関による自己点検・評価結果
1)機関による自己点検・評価結果
1)機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。
1)機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
1)機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。□ 多くの改善すべき問題がある。
 1)機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。 2)自己点検・評価の妥当性
 1)機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。 2)自己点検・評価の妥当性 「動物実験委員会審査内規」で1回の実験計画申請の研究期間を5年としているが、年度ごと
 1)機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。 2)自己点検・評価の妥当性 「動物実験委員会審査内規」で1回の実験計画申請の研究期間を5年としているが、年度ごとに「動物実験実施状況報告書(又は終了報告書)」「動物実験施設利用状況報告書」「動物実験の自
 1)機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。 2)自己点検・評価の妥当性 「動物実験委員会審査内規」で1回の実験計画申請の研究期間を5年としているが、年度ごとに「動物実験実施状況報告書(又は終了報告書)」「動物実験施設利用状況報告書」「動物実験の自己点検票」の提出を義務付け、提出率は100%である。よって、動物実験の実施状況について、
 1)機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。 2)自己点検・評価の妥当性 「動物実験委員会審査内規」で1回の実験計画申請の研究期間を5年としているが、年度ごとに「動物実験実施状況報告書(又は終了報告書)」「動物実験施設利用状況報告書」「動物実験の自己点検票」の提出を義務付け、提出率は100%である。よって、動物実験の実施状況について、
 1)機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。 2)自己点検・評価の妥当性 「動物実験委員会審査内規」で1回の実験計画申請の研究期間を5年としているが、年度ごとに「動物実験実施状況報告書(又は終了報告書)」「動物実験施設利用状況報告書」「動物実験の自己点検票」の提出を義務付け、提出率は100%である。よって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

□ 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況	ia) il (a)
1)機関による自己点検・評価結果	100,000 11
■ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。	
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。	
□ 多くの改善すべき問題がある。	
□ 該当する動物実験を行っていない。	
2) 自己点検・評価の妥当性	S. S
安全管理に注意を要する動物実験は、法令及び大学の諸規程に則して安全に実施	色されている。
また、必要な安全設備は適切に整備されている。遺伝子組換え実験の安全主任者が	i 実験動物管理
者や動物実験委員会委員を兼ねることによって情報共有がなされており、事故等の	り報告はない。
よって、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の)結果は妥当で
ある。	
3)検証の結果	化工程图:1 17-
■ 該当する動物実験が適正に実施されている。	
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。	
□ 多くの改善すべき問題がある。	
□ 該当する動物実験は行われていない。	
4) 改善に向けた意見	estata a
特になし。	
TO Appendix To A Link (1996) - 1986 (1996) - 1986 (1996) - 1986 (1996) - 1986 (1996) - 1986 (1996) - 1986 (1996)	50.7 TO
Compression of the Compression o	(市) 海龙 ()
4. 実験動物の飼養保管状況	1.15
1)機関による自己点検・評価結果	
■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。	
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。	
□ 多くの改善すべき問題がある。	42 198
2) 自己点検・評価の妥当性	rinta e
飼養保管施設ではマウス・ラットのみが飼育される。飼養保管は実験動物管理者	ずの下、管理業
務要領に従い適正に管理されている。微生物モニタリングはクリーンエリアでは年	F4回、コンベ
ンショナルエリアでは年2回実施され、環境モニタリングも年2回実施している。	飼養保管に関
する日誌類も適切に記録・保管されている。よって、実験動物の飼養保管状況につ	ついて、自己点
検・評価の結果は妥当である。	
3)検証の結果	THE STATE
■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。	

□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

	多くの改善すべき問題がある。
4)改	善に向けた意見
特に	なし。
П.	10年10日マルカロ 20日前日マイン山田本山 (A.8日間10年2年10日本年 日)
5. 施請	没等の維持管理の状況
1)機	関による自己点検・評価結果
	基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。
	概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
	多くの改善すべき問題がある。
2) 自	己点検・評価の妥当性
施設	はまだ新しく、問題となる箇所は見られない。備品管理簿等は実験動物管理者が PC でー
元管理	している。クリーンあるいはコンベンショナルとして運用しているため、大型オートクレ
	設置されていないが、小型オートクレーブは自主点検を実施している。飼育には IVC ラッ
	テムを採用し、クリーンエリアではディスポーザブルケージを使用している。よって、施
設等の	維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3)検	証の結果
	基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
	既ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
	多くの改善すべき問題がある。
4) 改	善に向けた意見
特に	なし。
	B. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.
	(2) 日本は対す物域保護を指定する。 場合には実施しているように対する。
6. 教育	訓練の実施状況
1)機	関による自己点検・評価結果
	基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
	既ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
	多くの改善すべき問題がある。
2) 自记	己点検・評価の妥当性
教育記	川練は新規受講者にはオンライン講習会を開催し、2020 年度は 4 回の日本語講習会に 62

いて、自己点検・評価の結果は妥当である。

名、2回の英語講習会に6名が受講した。教育訓練の内容も適切である。その他、動物実験を継続する既受講者には外部の有識者による講習も別途実施している。実験動物管理者は公私動協が 開催する実験動物管理者のための教育訓練を受講済みである。よって、教育訓練の実施状況につ

2021 年度 検証結果報告書 (ナノ医療イノベーションセンター)

3)検証の結果
■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
□ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。
7. 自己点検・評価、情報公開
1)機関による自己点検・評価結果
■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
□ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
2015年度より毎年自己点検・評価を実施し、必要な情報をホームページ上に公開している。公
開項目も適正であり、前回(2015年度)の検証結果報告書も公開している。よって、自己点検・
評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
□ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

ナノ医療イノベーションセンターは産学官が連携するオープン・イノベーション体制をとり、さまざまな人材が動物実験を含む研究活動を行っている。そのため多様なバックグラウンドを持つ実験実施者に柔軟に対応するための工夫が教育訓練や運用面においてなされている点は評価できる。また、ホームページだけでなく、マスコミの取材を受けるなど、さまざまな形で情報を発信し、組織の透明性を高めようとしている姿勢も高く評価できる。